

平成22年度 神奈川県立足柄上病院臨床研修プログラム

神奈川県立病院群臨床研修プログラム 031114103

1年次(12か月) 臨床に必要な基本的能力を身につけるための研修期間			
内科6月		救急3月	選択必修3月
総合診療科4月/循環器科2月 (内科研修の到達目標を達成)		内科系1月/外科系2月 (各科の到達目標にある 初期診療を経験)	外科1月 麻酔科2月

2年次(12か月)	
地域医療	自由選択
1月	11月 (将来専門とする診療科を中心に関連の診療科を研修医の希望に応じて調整)

ポイント

研修の到達目標を効率的に達成できるように指導。

選択必修を外科・麻酔科としたため、小児科、産婦人科、精神科の必修項目の達成に配慮。

【経験すべき基本的手技】 ~ 基本的手技の適応を決定し、実施するために ~

- | | |
|--|----------------------|
| 1 気道確保を実施できる | 10 導尿法を実施できる |
| 2 人工呼吸を実施できる
(バッグマスクによる徒手換気を含む) | 11 ドレーン・チューブ類の管理ができる |
| 3 心マッサージを実施できる | 12 胃管の挿入と管理ができる |
| 4 圧迫止血法を実施できる | 13 局所麻酔法を実施できる |
| 5 包帯法を実施できる | 14 創部消毒とガーゼ交換を実施できる |
| 6 注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、
静脈確保、中心静脈確保)を実施できる | 15 簡単な切開・排膿を実施できる |
| 7 採血法(静脈血、動脈血)を実施できる | 16 皮膚縫合法を実施できる |
| 8 穿刺法(腰椎)を実施できる | 17 軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる |
| 9 穿刺法(胸腔、腹腔)を実施できる | 18 気管挿管を実施できる |
| | 19 除細動を実施できる |

【2年次の内容について】

地域医療

- ・ 離島の病院にて、地域医療や救急について1か月間で実施。

内容	研修協力施設	期間
離島	沖縄徳洲会宮古島徳洲会病院	4週間

自由選択

次の神奈川県立病院群で高度な専門医療を含む技術、知識の習得をめざし、各1診療科1か月以上の研修を組み合わせ11か月間実施。

研修施設
 (神奈川県立足柄上病院、神奈川県立がんセンター、神奈川県立循環器呼吸器病センター、
 神奈川県立こども医療センター、神奈川県立精神医療センター 芹香病院、
 神奈川県リハビリテーション病院、山形県公立高畠病院、その他)

神奈川県立足柄上病院臨床研修プログラム (神奈川県立病院群臨床研修プログラム)の主な変更点

平成21～22年度(旧プログラム031114102、平成23年3月まで適用)

1年次(12か月)			2年次(12か月)				
内科	外科	救急	小児科	産婦人科	精神科	地域保健医療	選択科目
6月	3月	3月	2月	2月	1月	1月	6月
県立足柄上病院			県立足柄上病院 県立こども医療C		精神医療C 芹香病院	県保健福祉事務所 (保健所)	県立足柄上病院・がんC・循環器呼吸器病C・こども医療C・精神医療C 芹香病院、 県リハビリテーション病院

(なお131114101プログラムについては平成21年3月で修了)



平成22～23年度(新プログラム031114103、平成22年4月より実施)

1年次(12か月)				2年次(12か月)	
内科	救急	選択必修		地域医療	自由選択
		外科	麻酔科		
6月	3月	1月	2月	1月	11月
県立足柄上病院				協力病院 県立足柄上病院・がんC・循環器呼吸器病C ・こども医療C・精神医療C 芹香病院、 県リハビリテーション病院	

協力施設
 沖縄徳洲会宮古島徳州会病院
 山形県公立高島病院
 足柄上病院地域医療連携室
 診療所・中小病院・救急活動
 保健福祉事務所

[主な変更点]

選択必修は、外科1ヶ月、麻酔2ヶ月を必修としたため、小児科、産婦人科、精神科等の到達目標を達成するために、救急3ヶ月にて各科の到達目標にある初期診療を効率的に経験できるように配慮することとした。

自由選択は、11ヶ月となり、神奈川県立病院群で、各領域の高度な専門医療を含む技術、知識を習得したり、経験を積む機会が大幅に増加した。

地域医療研修では、離島や山あいの農村地域の医療に併せ、地域医療連携・救急活動、保健福祉事務所研修も経験できるよう選択可能なプログラムとした。